

三菱パイプ用ファン（壁据付け専用）

居間・浴室・トイレ・洗面所用

据付け説明書

販売店・工事店様用

形名	グリル形状	電源仕様
V-20PKS	タテ格子グリル	電源コード
V-20PKSD	電気式シャッター付	連結端子

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事に依頼してください。
- この製品は居間・浴室・トイレ・洗面所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管（8番管、呼び径φ200）、銅板管（内径φ200）のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を据付けてください。
- 外風の強い場所（地域・高層建築物）ではシャッターがばたつくことがありますので耐外風高性能フードを据付けることをおすすめします。

安全のために必ず守ること

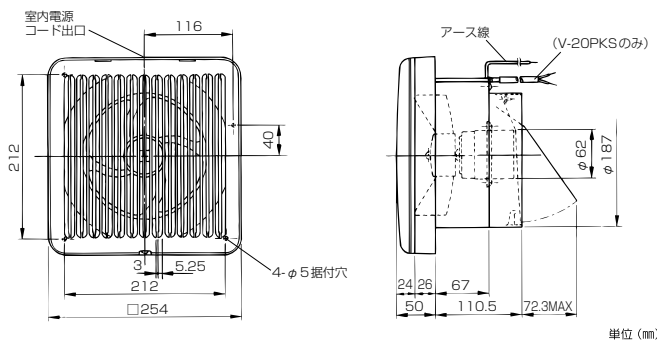
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>水ぬれ禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●製品を水につけたり、水をかけたりしない。ショートや感電の原因。 	<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない。火災の原因。 ●浴室に壁スイッチを設けない。感電の原因。
<p>分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や必要以上の分解はしない。火災・感電・けがの原因。分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は必ず電気工事に依頼する。感電や火災の原因。 ●据付けの際は必ず手袋を着用する。着用しないけがの原因。 ●部品の据付けは確実に進行。落下によるけがの原因。 ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に進行。落下によるけがの原因。 ●電気工事は電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）および内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう据付け。漏電・発火の原因。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気工事は電気設備に関する技術基準を定める省令（および同解説）および内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●交流100Vを使用する。直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。 ●内蓋式風呂を据付けた浴室には据付けられない。排気ガス逆流の原因。 	<p>指示に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> ●据付け後、長期間使用しない場合は分電盤のブレーカーを切る。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。
<p>アース確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アースを確実に取付け、漏電遮断器を設ける（浴室に据付けの場合）。故障や漏電した場合、感電の原因。 	

ご使用にあたってのお願い

- 高温（40℃以上）になるところに据付けないでください。故障の原因
- アルミレキシブルダクトへの据付けはしないでください。振動の原因
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。壁厚により据付けられないものがあります。
- 壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- 天井面には据付けないでください。シャッターが開きません
- 浴室に据付けた場合、使用中および使用後に浴室が乾燥するまで（約3時間）換気扇を運転してください。なお、使用後は水を落とすか、湯気が発生しないよう必ず「ふた」をしてください。浴室や換気扇のいたみ減少になります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

外形寸法図



付属部品 木ネジ………4本

適用パイプ

- 塩化ビニル管…VU、VP（8番管、呼び径φ200）
- 銅板管（内径φ200）

据付方法

■接続パイプには塩化ビニル管の薄肉（VU）管と厚肉（VP）管および銅板管があります。必要に応じたパイプを用意してください。

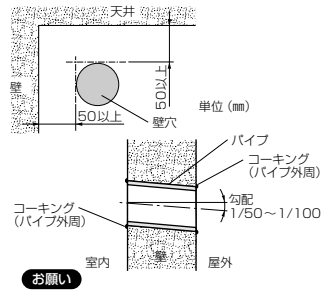
据付けの準備

壁穴へのパイプの固定

1. 据付け場所を決めて穴をあける。
 - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のところに据付けてください。
2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

 - 連結端子タイプは、電源電線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 壁内への雨水浸入を防ぐため、パイプは室内壁面まで差し込んでください。



●パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下り勾配をつけ固定してください。

電気工事

警告

- 交流100Vを使用する。直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

注意

- 電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因。
- 電気工事は電気工事に依頼する。感電の原因。

■専門の電気工事店様へ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

●市販のスイッチを使用される場合は、適切なスイッチを選定して給線してください。

V-20PKSの場合

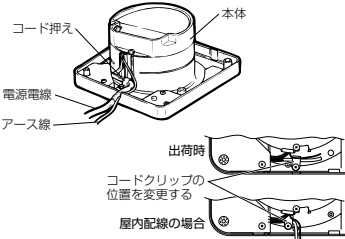
電源コンセントを屋外または屋内に設けます。システム部材の防火ダンプを使用される場合は、内線規程に基づくコンセントを屋内に設けてください。

電源を屋内に設ける場合。

- 電源電線を図のように電源電線引出部より引き出す。

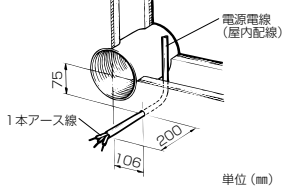
お願い

- 電源電線の長さは、サービス時本体がパイプから取外せるよう十分な長さとしてください。

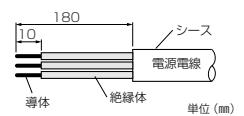


V-20PKSDの場合

1. 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。



2. 電源電線の先端を下図に合わせて皮むきます。



本体の据付け

グリル締付ネジをゆるめてグリルを本体からはずす。

V-20PKSの場合

1. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジ（4本）で壁に固定する。電源電線、アース線をパイプの中へ入れるときは、本体のみぞに通してください。
2. 浴室など湿気が多い場所で使用する場合、アース線を使用し必ずD種接地工事（アース工事）を行う。
3. グリルを本体に据付ける。
 - グリルの方向を間違えないよう本体上部のツメに引掛けてはめ込み、ワッシャーをグリルの外側にあててグリル締付ネジを締め付け固定します。
4. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

お願い

- シャッターが開いたとき、電源電線が当たらないよう記録してください。

V-20PKSDの場合

1. コードブッシュに電源電線を差し込みながら本体をパイプに差し込み付属の木ネジ（4本）で壁に固定する。
2. 電源電線の先端を連結端子に接続し、オレンジ色のレバーを戻して確実に接続する。
3. 浴室など湿気が多い場所で使用する場合、アース線は本体のアースネジを使用し必ずD種接地工事（アース工事）を行う。

お願い

- 電源電線は確実に連結端子に差し込みます。皮むきした部分が端子より出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引っ張って連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線は本体面に密着させて記録してください。
- 電源電線を連結端子よりはずす場合は、レバーを開く方向に倒して電源電線を引き抜いてください。

4. グリルを本体に据付ける。
 - グリルの方向を間違えないよう本体上部のツメに引掛けてはめ込み、ワッシャーをグリルの外側にあててグリル締付ネジを締め付け固定します。

5. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

